

FACSIMILE DEVICE

Patent Number: JP60167566
Publication date: 1985-08-30
Inventor(s): SHIGEE NOBUYUKI
Applicant(s): FUJI XEROX KK
Requested Patent: ☐ JP60167566
Application Number: JP19840023403 19840210
Priority Number(s):
IPC Classification: H04N1/00; H04M11/06
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To exclude a scanner and a printer out of a facsimile device to simplify the structure of the facsimile device, by providing a host computer control part into the facsimile device and performing the input and output of data by a host computer.

CONSTITUTION: A host computer 12 is connected to a facsimile device 10 to perform the input and output of data (picture information or code information). A host computer control part 14 is provided within the device 10 to exchange data with the computer 12. In addition, the device 10 includes a data compression/restoration part 16, a communication part, a main control part 18, a modem 20, an NCU and an automatic dialer 22. In such a constitution, a scanner and a printer are excluded from the device 10 to simplify the structure of the device 10.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-167566

⑬ Int. Cl.⁴

H 04 N 1/00
H 04 M 11/06

識別記号

107

庁内整理番号

8020-5C
C-7345-5K

⑭ 公開 昭和60年(1985)8月30日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 ファクシミリ装置

⑯ 特 願 昭59-23403

⑰ 出 願 昭59(1984)2月10日

⑱ 発 明 者 重 枝 信 之 海老名市本郷2274番地 富士ゼロックス株式会社海老名工場内

⑲ 出 願 人 富士ゼロックス株式会社 東京都港区赤坂3丁目3番5号

⑳ 代 理 人 弁理士 中 村 稔 外3名

明 細 書

1. 発明の名称 ファクシミリ装置

2. 特許請求の範囲

(1) オートダイヤリング機能を有するファクシミリ装置において、

ホストコンピュータとのデータ交換を行う対ホストコンピュータ制御部が設けられ、

スキャナ及びプリンタを有しないことを特徴とするファクシミリ装置。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明はファクシミリ装置、特に画像情報の送受信を行うファクシミリ装置に関するものである。従来技術

画像情報を電気信号に変換して送信し、これを受信して再び画像情報を形成するファクシミリ装置が周知であり、現在、ファクシミリ装置にホストコンピュータを接続結合し、種々の処理作用を行わせるコンピュータファクシミリ装置が使用されている。なお、ここで、ホストコンピュータとは、パーソナルコンピュータ、オフィスコンピュータ、ワードプロセッサ等をいう。そして、このようなホストコンピュータの接続されたファクシミリ装置においては、データの入力及び出力はホストコンピュータにより行われ、すなわち、データはホストコンピュータから入力されてファクシミリ装置から送信され、また、ファクシミリ装置で受信されたデータはホストコンピュータにより出力される。また、このようなファクシミリ装置

においては、スキヤナから読み込んだデータはホストで編集され、また、ホストのデータはプリンタに出力される。

このような従来のファクシミリ装置においては、ファクシミリ装置内のスキヤナからデータを読み込みあるいはプリンタからデータを出力するというファクシミリ装置本来の機能がホスト間の通信においては使用されないという問題があつた。すなわち、ホスト間の通信のみの目的でファクシミリを購入する場合には、スキヤナ、プリンタは必要なく、スペース、経費面で無駄な部分をも含めて購入することとなる。

発明の目的

本発明は前記従来の課題に鑑み為されたものであり、その目的は、スキヤナ及びプリンタが取り除かれた簡単な構造の小型、軽量、安価、機構部がないことにより高信頼性なファクシミリ装置を提供することにある。

発明の構成

本発明は、オートダイアリング機能を有するフ

ァクシミリ装置において、ホストコンピュータとのデータ交換を行う対ホストコンピュータ制御部が設けられ、かつオートダイアリング機能を有すること、またスキヤナ及びプリンタを有しないことを特徴とする。

実施例

以下、図面に基づいて本発明の実施例を説明する。

添付図面には、本発明の実施例によるファクシミリ装置が示されている。

図において、ファクシミリ装置10にはホストコンピュータ12が接続され、該ホストコンピュータ12により、データ(画像情報又はコード情報)の入力及び出力が行われる。そして、ホストコンピュータ12とのデータ交換を行うために、ファクシミリ装置10内には、対ホストコンピュータ制御部14が設けられており、更に、ファクシミリ装置10内には、データ圧縮復元部16、通信部及び主制御部18、モデム20、NCU及びオートダイアラ22が設けられている。

3

従つて、実施例のファクシミリ装置によれば、ホストコンピュータ12により、データの入出力が行われ、更に、対ホストコンピュータ制御部14により、ホストコンピュータ12とファクシミリ装置10とのデータ交換が行われる。これにより、ファクシミリ装置10からスキヤナ及びプリンタを取り除き、簡単な構造とすることが可能となる。

なお、ホストコンピュータ12と対ホストコンピュータ制御部14との間は、例えばGPIB、RS232C等のインタフェイスで接続され、両者間のデータ交換は、一定のルールを有するプロトコルにより行われる。

また、コードデータは、独自のコレクト機能を有する通信モードにより通信され、被転送側の機種がG3/G2である場合には、内蔵Fontによりビデオデータに落され、G3/G2モードで転送を行う。

また、ビデオデータは、独自のコレクト機能を有する通信モードにより通信され、被転送側の機

4

種がG3/G2である場合には、G3/G2モードで転送を行う。

更に、ホストコンピュータ間の通信、ホストコンピュータ→G3/G2ファクシミリへの通信、G3/G2ファクシミリ→ホストコンピュータへの通信は、電話回線により行うことができ、ホストコンピュータの起動により、ファクシミリ装置がオートダイアリングを行う。

発明の効果

以上説明したように、本発明によれば、ファクシミリ装置内に対ホストコンピュータ制御部を設け、ホストコンピュータによりデータの入力及び出力を行つていたので、ファクシミリ装置からスキヤナ及びプリンタを取り除き、簡単な構造とすることができる。

なお、ファクシミリ装置からスキヤナ及びプリンタが取り除かれているので、装置を低価格とすることができ、また、メカニカルな部分がなくなるため、信頼性が高くなり(メンテナンスフリー)生産時における調整作業を減少させることができ

る。

また、ホストコンピュータとの接続部以外の部分は、TTLレベルにて処理できるので、電源部を低価格とすることができる。

更に、ファクシミリ装置自体の大きさをコンパクトにまとめることができる(小型、軽量)。また、消耗品をなくし、騒音の発生を防止することができる。

図面の簡単な説明

添付図面は本発明の実施例によるファクシミリ装置のブロック回路図である。

10…ファクシミリ装置、12…ホストコンピュータ、14…対ホストコンピュータ制御部。

